

イノベーション技術経営

貿易立国からグローバル科学技術立国への転換を図るには新しい科学技術成果を創出すること、既にある多くの科学技術成果を広く活用することの両方のマネジメントが必須である。

イノベーションはこの二つがそろって興すことができ、新しい国づくりを進めることができる。このイノベーションの大切さ、興し方、活用方法を学ぶ。キーワードは多岐にわたるが基本的な項目に焦点を絞る。議論の機会を多く持ち、討議形式講義の代表であるケースメソッドを活用する。

2013

4/11(木) ▶ 7/25(木) 全9回 各16:20▶17:50

広島大学東広島キャンパス 理学部 E102教室

一般の方対象：定員20名

無料

(定員になり次第、締切ます)

1	導入・企業価値向上のために 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三	6	マーケティングとイノベーション 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三
4/11 (木)	企業価値向上のための技術経営であることを知る。その結果、講義の目的と扱う範囲を明確にする。研究開発、事業化、産業化の流れを理解する。	5/23 (木)	マーケティングとは何か？科学・技術を専門とする者が関わるマーケティング活動について述べる。顧客とイノベーションを連携して推進するには必須の考え方である。
2	企業戦略と技術戦略 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三	7	イノベーション実践へ 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三
4/25 (木)	イノベーションを実際に推進するには会社としての戦略が必須である。戦略とは何か、企業戦略とは、を考察する。そしてイノベーションを推進するための企業戦略から技術戦略への展開を示す。	5/30 (木)	これまでの知識を活用しイノベーションを起こす方をグループ討議の中から見出す。MIT/慶応大学などで実証済みの双方向講義方式であるケースメソッドを用いる。
3	イノベーションとは 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三	8	イノベーションへの研究・開発マネジメント 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三
5/2 (木)	イノベーションとは何かを知る。また産業活動とイノベーションの関係を知る。	7/11 (木)	何を作るかだけでなく、どう作るかは大きなイノベーションの対象である。研究開発の企業開発における位置付けと、新製品開発プロセスでのプロジェクトマネジメントの基本的な考え方を知る。なぜプロセス改革が進まないかの考察もする。
4	現場のイノベーション (株)SMS 代表取締役 諸藤 周平	9	まとめ 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三
5/9 (木)	会社の社長を特別講師として招聘し、臨場感あふれる実際の話しを聞き、イノベーションを肌で感じる。そして、イノベーションに対する認識をさらに深める。	7/25 (木)	イノベーション技術経営に関する全体のまとめをする。最終回は全体のまとめと、イノベーションに関する討論とする。
5	イノベーションのマネジメント 広島大学産学・地域連携センター 教授 三枝 省三		
5/16 (木)	イノベーションを実践するためのマネジメントは何かを知る。同時にジレンマ（気が付かない失敗）に陥ることがあり、これらについて事例を用いて示す。		

問合せ先

広島大学産学・地域連携センター 新産業創出・教育部門 VBL Office
 メール：office@vbl.hiroshima-u.ac.jp 電話：082-424-7880

申込先・申込方法

産学・地域連携センター VBL Office 及びエクステンションセンターにて受付

※産学・地域連携センター VBL Office では、メールまたは電話にて

氏名・住所・電話番号・メールアドレスをお教えてください。

メール：office@vbl.hiroshima-u.ac.jp 電話：082-424-7880

※エクステンションセンターでは、ウェブサイトまたは電話でご確認ください。

URL：http://www.hiroshima-u.ac.jp/extension 電話：082-424-6140